

地域団体の主催する防災まちづくり事業で講演と運営協力

2016年11月26日、京田辺市のNPO法人『すきなまち京田辺塾』が主催するまち歩き点検事業『=河川見守りたい=天津神川・尼ヶ池等周辺の散策』において、砂防学研究室の三好岩生助教が講演し、砂防学研究室と流域情報学研究室の学生が運営協力を行いました。その様子は京都新聞で報道されました。



← まち歩き点検に出る前に、三好助教が防災まちづくりについての講演を行いました

まち歩き点検事業の様子 →



← まち歩きの後、学生が協力して行ったグルーミング（意見交換）



砂防学研究室では、地域の防災まちづくり活動を支援しています